

● これからの時代における自治体経営と職員像～行政学の視点から～ ●

実施期間	令和8年8月26日					
対象者	全職員	定員	40人			
目的・内容	<p>現在の自治体や国の動向に加え、少子高齢化、人口減少社会による地方税の減少と公共施設・インフラなどの義務的経費の増加の問題と、これから考えるべき新しい時代の流れを学び、時代を捉える力を身につけるとともに、自治体がとるべき経営戦略である拡大戦略と縮小戦略を具体的事例に基づきながら学ぶ。</p> <p>また、講義を基にこれからの自治体のあり方や職員像を考える。</p>					
講師（敬称略）	大阪大学大学院法学研究科 教授（行政学専攻） 北村 亘					
	9:50	10:00	11:50	12:50	17:00	17:05
8/26 (水)	オリエンテーション	<p>1. オリエンテーション ～研修のねらい～</p> <p>2. 講義「地方自治の動向」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方分権の歴史</li> <li>・ 地方自治内外の激変</li> <li>・ まとめ</li> </ul>	昼休み	<p>3. 講義「地方自治体での政策形成」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二元代表制</li> <li>・ AI・RPA等の導入</li> <li>・ 新しいテクノロジーと人事管理政策</li> </ul> <p>4. まとめ ～行政全体のあり方の変化～</p>	ふりかえり (アンケート回答)	